



お薬Q&A

普段目にするお薬のこと。知っているようで実は知らなかったということもありますよね。そこで今回は、薬局での実例をもとにいくつかご紹介いたします。

Q1 医師にいつも「検査結果が良いですね」と言われます。良いのならば薬は飲まなくていいと思うのですが、なぜ飲み続けるのですか？

A1 指示された用法・用量で飲み続けていることが、結果として良い状態を維持しているのだと思います。自己判断で飲むのを止めてしまったり、飲む量を減らしてしまったら、状態が悪化する恐れもあります。医師から特別な指示がなければ続けて飲みましょう。ただし、今までとは違う症状が現れた場合などは、速やかに医師・薬剤師にご相談ください。

Q2 現在、血圧の薬を飲んでいますが、グレープフルーツ（ジュースなども含む）は控えるように言われている

日、腕の筋肉が痛くなりました。薬の説明書を読みると、副作用に筋肉が痛くなると書いてありました。怖くなって、医師に内緒で服用するのをしばらく止めています。どうしたらいいでしょうか？

A4 まずは、医師に腕が痛くなった時の状況を説明しましょう。その上で、現在処方されている薬を継続するか、止めるかの判断を仰いでください。薬の説明書に書かれてある副作用情報は、患者さん自身が服用するかもしれないかを判断するために提供されている情報ではありません。気になった症状は、ひよっとしたら薬が

そうです。私は特に言われていませんが大丈夫ですか？

A2 必ずしも血圧のお薬を飲む人全てが、グレープフルーツを控えないければならないわけではありません。血圧の薬は、その作用の仕方によっていくつか種類があります。その一部にグレープフルーツを控える必要はない種類があるのです。まずは医師・薬剤師にご相談ください。

Q3 熱が出ました。かつて同じような症状でもらった熱冷ましのお薬があります。使用しても大丈夫でしょうか？

A3 使わずに残った薬は、その当時の症状に対して処方された薬なので原則使用しないでください。また、食べ物に賞味期限があるように、薬自体にもそれぞれ使用期限が存在します。使用期限を過ぎた薬は効果や安全性に不安がありますので、新たに医療機関を受診して適切な薬を処方してもらおうにしましょう。

Q4 普段から医師にコレステロールのお薬を処方してもらっています。先

原因ではない可能性もあります。自己判断で止めてしまつて、本来の治療を中断することの方が問題となることもあります。最終判断は処方した医師が、さまざまな情報から総合的に行います。副作用が心配な場合は、ご自分で判断する前に、医師・薬剤師に速やかにご相談ください。

ご紹介した内容は、ごく一部のケースです。些細なことでも構いませんので、間違つた薬の使用を防ぐためにも薬剤師にお気軽にご相談ください。

(ピー・アンド・エス大曲ひまわり薬局 管理薬剤師 川田智広)

認定かかりつけ基準薬局リスト

鹿角支部	
黒沢薬局	☎0186-35-3200 ㊚35-3990
すみれ調剤薬局小坂店	☎0186-29-5121 ㊚29-5122
大館・北秋田支部	
わかば薬局	☎0186-45-1660 ㊚45-1661
能代・山本支部	
調剤薬局ユニファー	☎0185-89-1701 ㊚89-1702
とまと薬局	☎0185-54-5950 ㊚53-2911
本荘・由利支部	
イケタ調剤薬局	☎0184-65-2047 ㊚65-2327
上原調剤薬局	☎0184-22-2728 ㊚24-0432
おいかた調剤薬局	☎0184-62-4122 ㊚62-4133
大越薬局	☎0184-22-3903 ㊚23-5011
大越調剤薬局あかぬめ店	☎0184-24-0541 ㊚24-0548
大越調剤薬局このうら店	☎0184-74-3988 ㊚74-3989
オレンジ薬局	☎0184-28-1201 ㊚28-1202
象潟調剤薬局	☎0184-43-4655 ㊚43-5712
サン薬局	☎0184-23-7338 ㊚27-1570
西目調剤薬局	☎0184-33-4880 ㊚33-4877
ねむの木調剤薬局	☎0184-43-2000 ㊚43-2060
本荘駅前調剤薬局	☎0184-28-4550 ㊚23-3577
ぼんてん調剤薬局	☎0184-44-8398 ㊚44-8399

地域の皆様のために新しく作られた
“認定かかりつけ基準薬局”です



処方せんの有効期限は
処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp